

## 道徳学習指導案

- 1 日時 平成29年 6月21日(水) 5校時
- 2 学級 第2学年 男子17名 女子3名 計20名
- 3 主題名 「思いやりの心」2-(2)
- 4 ねらい 自分の周りのすべてのものに感謝の気持ちを持ち、その気持ちを「ありがとう」の言葉で表すことの大切さに気付く。
- 5 資料名 「ありがとう」1日に100回 (出典 2011年11月16日読売新聞夕刊)
- 6 主題設定の理由
  - 本題材は、低学年の指導内容2-(2)「幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。」を基に設定したものである。  
自分の周りの全てのものに感謝の気持ちを持ち、その気持ちを「ありがとう」の言葉で表すことの大切さに気づき思いやりの心をもった態度を育てることが大切であると考える。
  - 本学級の児童は、単学級のためクラス替えもなく、互いに積極的にかかわることができる児童が多い。学校生活のいろいろな場面で、友達の良さを見付けたりすることができる児童もいる。反面、自分本位な考えで、きつい言い方や強引な態度で友達に接してしまいがちな児童や、持ち物を大切にできず乱雑に扱いがちな児童も多い。内面では感謝の気持ちをもっていても、素直な心で「ありがとう」と感謝の気持ちを持ち、それを言葉で表現できる児童は少ない。
  - この資料は、「心を込めた『ありがとう』という言葉は、言葉をかけただけ自分の夢や希望を実現できる手助けをしてくれる…」と書かれた新聞のコラムから引用したものである。読む前に、まず、『ありがとう』1日に100回」という見出しに惹きつけられる。ただ単に、『ありがとう』と言う言葉をたくさん使えば良いということではなく、自分の周りの人や物に感謝できる人は、その人や物の良さや素晴らしさに気付いていて、それを言葉に出して言える(伝えられる)人であると気付かせてくれる記事である。資料に表現された心情にせまることで、感謝の気持ちを持ち素直な気持ちで「ありがとう」と言える(伝えられる)ことの素晴らしさについて考えることができる。  
指導に当たっては、資料の表現の中に含まれている心情を理解させるために、資料を低学年の児童にも状況把握がしやすいよう簡単な言葉や文に書き換えた。また、ワークシートを用意し、読み取った内容や自分の考えを書かせ、ペアトークを行い互いの意見を交流させ、ねらいに迫りたい。
  - NIE活用のねらいは、見出しの「『ありがとう』1日に100回」に注目させ、記事にあるありがとうの意味について考え、表現された心情を理解することで、「ありがとう」は相手だけでなく、自分自身を育てていることにつながることに気付かせることである。
- 7 本時において育成しようとする資質・能力とのかかわり  
本校で育成したい資質・能力は、①課題発見・解決力②主体性③チャレンジ精神④自らへの自信の4つである。そのうち、本時で重点的に指導し

たい資質・能力は次の2つである。

育成したい資質・能力	本時の学習を通して目指す姿
主体性	道徳的価値について自分の意見を一人一人がしっかりとをもって、主体的に発表しようとしている。
自らへの自信	自分の考えをもち、根拠を明確にし、自分の言葉で表現できる。協働の中で、認め合い、自分の良さに気付く。より良くしようとする実践意欲を持つようとしている。

◇本時の目標 「『ありがとう』1日に100回」の意味を考えることで、自分の周りの全てのものに感謝の気持ちを持ち、その気持ちを「ありがとう」の言葉で表すことの大切さに気付かせ、実践意欲を育てる。

学習活動		指導上の留意事項 (◇) ★めざす子どもの姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手立て ※【NIE】(NIE活用の場面・ねらい)	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎肯定的評価 ★資質・能力
導入	クイズです。「○○○○」に入るあいさつの言葉を考えてみましょう。	○小見出しを部分的に提示し、日常使っているあいさつの言葉を当てさせ関心をもたせる。	
	<p>ありがとうございますをどんな時に使いますか。</p> <p>1 小見出し全体を見せて、めあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんにちは</li> <li>・さようなら</li> <li>・いただきます</li> <li>・ありがとう</li> <li>・お礼を言うとき</li> <li>・何かしてもらった時</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日に100回も言うのかなあ…。</li> <li>・100回も言えないよ。</li> </ul>	
<b>「ありがとう」1日に100回とは…どういいうみかかんがえよう。</b>			
展開	2 資料の記事の前半を読んで、気付いたことを書き出す。(記事・ワークシート)	<p>○資料を読む ※【NIE】</p> <p>◆状況把握がしやすいように、捕捉しながら読み進めていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>NIE活用</b></p> <p>記事にあるありがとうの意味について考え、ありがとうは、相手だけでなく自分を育ててくれることにつながることに気付くことができるようにする。</p> </div> <p>○『ありがとう』1日に100人」の見出しに注目させ、記事の中のありがとうの意味について考えさせる。 ※【NIE】</p>	

ま と め	<p>3 資料の続きを読んでグループで話し合う。</p> <p>○普段の「ありがとう」を使っている場面との違いに気付かせる。 ※【NIE】</p> <p>・人にだけでなく、身の回りにあるものにも、「ありがとう」といっています。          ・お日様に「ありがとう」を言うのは、天気がいいと外で遊べるからです。          ・花に「ありがとう」というのは、きれいな花がかざってあると、いい気分になるからです。</p>	<p>★友達と考えと比べ自分の考えを深める力（発言）</p>
	<p>自分たちの身の周りにもたくさんの「ありがとう」があることを全体で確認する。</p> <p>○「ありがとう」と言うこと、そういう気持ちをもつことの大切さに気付かせる。</p> <p>・ぼくは、くつに「ありがとう」を言いたいです。わけは、くつのおかげでけがをしないからです。          ・私は、机といすに「ありがとう」を言いたいです。わけは、机といすがあるから、勉強ができるからです。</p>	<p>★自分の考えをもち、根拠を明確にし、自分の言葉で表現できる力（発言・ワークシート）</p> <p>★友だちの発言の良いところを認め合う力（観察）</p>
	<p>4 まとめをする。</p> <p>○めあてに対応したまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>児童のまとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなものに「ありがとう」と言える人になりたいです。</li> <li>・「ありがとう」と、たくさん言えることで、自分自身が優しく思いやりのある人になれる気がします。</li> </ul> </div>	<p>◎自分の周りの人や物に感謝の気持ちをもちそれを「ありがとう」の言葉で伝えようとする意欲をもつことができる。（発言・ワークシート）</p>
<p>5 教師の説話を聞き、「ありがとう」の詩を読んで学習の振り返りをする。</p>	<p>ありがとう しょうじ たけし</p> <p>ありがとう ありがとう          いえば とってもいい気持ち          ありがとう ありがとう          いわれりや もっと いいきもち          ありがとう ありがとう</p>	